

2 7月の見通し

野 菜

各品目で産地の切替が本格化する月となる。東日本の梅雨明けは平年並か少し早く、その後、高温となる予報で、各産地生育が順調であることから入荷量が増加する見込み。

「トマト」は上中旬が産地の切り替わりで入荷量少なく端境となるが、下旬には夏秋産地が出揃い相場が安定する見込み。

「ばれいしょ類」「たまねぎ」は中旬から北海道産の入荷が始まる見込みで、他産地も生育順調で安定した入荷が期待できることから相場は下がる見通し。

野菜全体としては入荷量は少なかった前年をやや上回り平年並、単価は高値となった前年をやや下回り、平年をかなり上回る見込み。

果 実

7月は数量面では「すいか類」、金額面では「もも類」が中心となる。「すいか類」は各産地生育順調、「もも類」も生育良好で1週間前後前進している。

「日本なし類」は「幸水」の生育は各産地順調だが、ハウス栽培やトンネル栽培の面積が減少している産地もある。「ぶどう類」は大粒品種は玉張り良好で、コンテナ規格の割合が多くなる見込みで、7月は前半にギフト需要で引き合い強まり単価も上昇、その後単価は下がるという例年どおりの流れとなるか。

果実全体としては入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年並を見込む。

品 目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備 考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
ねぎ	⇒	⇒	↓↓↓	↓	主産地は茨城県、千葉県。関東産中心の中、中旬以降は北海道、秋田県からの荷物が増えてくる。いずれの産地も生育順調なため、北海道・東北産の増加に伴い相場は軟調となる見通し。予想入荷量は前年・平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↓	↗	↑↑	主産地は福島県、岩手県。梅雨で曇雨天が続いた場合、肥大が鈍って入荷量が減り、大きく相場が上がる可能性あり。岩手県等の露地作も順調で、梅雨明けとともに各産地からの入荷量が大きく増加する見通し。予想入荷量は前年並で、平年をやや下回る見込み。
トマト	⇒	↓↓↓	⇒	↗↗	上中旬は作期終盤で数量が減少する産地と夏秋産地の出揃い待ちとで端境となる。下旬には夏秋産地が出揃い価格も落ち着く見込み。予想入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
大玉すいか	↓	⇒	⇒	↗↗	主産地は山形県、鳥取県、新潟県など。山形県、鳥取県、千葉県は前年比2～5日早い生育状況。長野県は7月20日以降出荷分の品種を変更し、高品質が期待される。予想入荷量は多かった前年をやや下回る見込み。
メロン類	↗	⇒	↓	↗	各品種・各産地ともに生育順調。「アールスメロン」は前年並の入荷見通しとなっており、千葉県産「タカミメロン」は初旬から15日ごろが入荷ピークで25日におおむね終了と見込まれ、前年よりも大玉傾向。予想入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↓↓	かなり高, かなり低: ±6～15%
↗, ↓	やや高, やや低: ±3～5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上